

2016 年度秋学期 授 業 評 価 報 告

科 目 区 分 名	食物科学専攻	科 目
-----------	--------	-----

アンケート結果、今後の改善、その他特記事項（授業方法の工夫等）についての総評

食物科学専攻について：

食物科学専攻科目のアンケート結果から、評定平均値を全学と比較すると、いずれの項目においても全学平均値よりやや低かった。これは必修科目が多いことや、実験実習など課題の多い科目が多数あることも影響している可能性が考えられるが、「Q5 授業の工夫」や「Q7 話し方」など改善の必要があると思われた。また「授業レベル」のみが昨年度より低下傾向（3.55）にあった。評点 3 が適切と考えると、これは授業レベルが学生に合うよう、教員が工夫した結果であろう。また、授業時間外の学習時間（時間換算期待値 h/w）が 1.18 で全学 0.65 に対して 1.8 倍と高く、昨年度（1.02）よりも増加傾向にあった。今後も授業時間外の学習に力を注ぐように指導を続けることが必要と考えている。

DWCLA10 選択率に関しては、全学選択率と比較して、分析力（42.1%，全学 32.8%）と思いやる力（15.6%，全学 9.8%），変化対応力（16.3%，全学 8.8%），自己管理能力（18.6%，全学 11.4%）が高いことが特徴的であった。しかし、創造力は 14.9%（全学 19.3%），自己実現力は 6.8%（全学 9.7%）と低かった。科目にもよるが今後、授業方法の工夫等で改善すべき課題であるといえる。

上記の枠内に収まる範囲内でご記入ください。

教育開発支援センター